

新春
特別号

2023年1月

～チャイルドの経営コンサルタント監修による～

選ばれる園になるためのメルマガ

株式会社 幼保経営サービス・コンサルティング部



「就活の終盤：就活残り組の実態」 ～ある保育者養成教員のつぶやき～

(株)幼保経営サービス コンサルティング部では、法人・園の経営・運営の悩み事に対応しています。
チャイルドグループの各事業部のノウハウをお届けします。

年々早まる保育業界の就活。採用者が出るか出ないかわからない中でも、もしものために園さんはフェアに
出向き、さまざまな情報提供していただきます。その中で、学生たちは考えながら志望の就職先をしばります。

11月を過ぎると、約70%の学生が内定をいただいています。感謝感謝です。
10月頃には、学生からの就職相談がピークに入り、「私は保育園と幼稚園
どちらが向いていますか?」「いい園を教えてください」とかそれはそれは
教員や就職課に「占いに来たのか!?!」とを感じるような相談が殺到します。



短大生を見ると、卒業後に進学する方もここ数年で増加傾向にあります。
中には卒業が危うい方もいます。こういった非就職者が10%ほどいます。
さあ残りの20%。この学生たちは何をしているのか…この20%は、決して複数園を受けて不採用となっ
ているわけではないのです。ただ、まだ「動けていない」だけなのです。

保育系の学部にいると、大多数の学生が同じ動きをしますので波にのって就職活動し始めるのですが、中には
就職活動を始められない人もいます。特にここ数年はコロナで実習の時期が不安定で、
幼稚園と保育園のどちらも実習してから進めたいと思う学生は、典型的に
活動が遅れます。また短大生であれば、まだ20歳そこそこで、自分が
社会にでて頑張れる自信が持てずに行動が一步遅れる人もいます。
家庭の問題に巻き込まれ、自分のことがおろそかになっている人もいます。



「秋以降に就活している学生さんは、きっとワケアリ…」なんて感じる園さんも
いるかもしれませんが決してそんなことはありません。問合せがあった園さんは、
どうか温かい目で受け入れてあげてください。それはそれはいい保育者としての
「間」をもっていることもありますので…(確実ではありませんが)。



株式会社 幼保経営サービス

コンサルティング部 ディレクター 東京弁護士会所属 柴田 洋平 (弁護士・保育士)

TEL 03-6915-1910 Email yohokeiei_consulting@child.co.jp

HP <https://www.ans.co.jp/youho/consult.html>

